

令和4年度（県西教育事務所）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む） 【必須事項】	公務員倫理意識を徹底し、公務外非行を起こさないようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに所長より全所員に対し、神奈川県職員としての自覚と責任をもって業務を遂行すること、神奈川県職員行動指針を念頭に置き、県民からの信頼を失うことがないよう職員がお互いに声を掛け合える職場環境にしていくよう講話があった。 ・全所員を対象に、不祥事防止のための研修を9月14日と11月30日に実施した。
わいせつ・セクハラ行為の防止 【必須事項】	セクハラ等に関する認識不足から不祥事に結びつかないようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・職場研修資料をもとに所属職員全員を対象にした職場研修を実施し、意識の向上を図った。今後も各種ハラスメントに関する認識不足から不祥事に結びつかないようにするとともに、互いに相談しやすい職場環境を一層整えるようにする。自分のこととして意識する雰囲気づくりにも努めた。
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報を適切に管理し、個人情報の流出・漏洩を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンロックや重要情報へのパスワード設定、離席・退庁時の文書管理や所内の整理整頓など、情報管理体制の徹底を図った。
適正な経理処理	迅速かつ適正な経理処理を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係書類の進行管理や、複数職員による確認体制を徹底した。 ・物品照合を複数職員で行い、備品の適正管理を行った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	安全運転を心がけ、交通事故の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・11月に職場研修を実施し、所員の意識の向上を図った。管内の交通事故の状況や安全運転について話題を提供し、交通事故の未然防止に努めた。
適切な業務執行ができる体制づくり	計画的な運営により業務執行における事故を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・送付文書や研修資料等の複数によるチェック体制を徹底し、人権的な視点で点検をした。また、業務内容を確認し合い、継続的に、業務のスリム化を図っている。今後もさらに相互に注意し合える職場づくりを一層充実させていくようにする。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題（所属長意見）

当教育事務所のめざすべき姿として「顔合わせ」「心合わせ」「力合わせ」を、そして「誠実」「確実」「迅速」を合言葉に所員が一丸となって不祥事ゼロに向けて取り組んできている。

今後も、所員一人ひとりが不祥事防止を自分事として自覚し、風通しの良い職場づくりに努めていきたい。

また、職場のハラスメントに関する不祥事が報道等で散見されるが、その根底は、人権意識の

欠如であると捉えられることから、同僚や部下・後輩に対して、学校であれば児童・生徒に対して、お互いの人権を尊重する意識を高く持ち、あらゆるハラスメント、体罰、不適切な指導を撲滅するよう、市町教育委員会及び学校への「的確」「丁寧」な支援を心掛け、管内の学校から不祥事を起こさないことを最大目標としていきたい。